

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年10月6日

BMJ:

ワクチン接種後、時間が経つと、中等症～重症化防止効果が低下する

【松崎雑感】

ファイザーやモデルナなどのmRNAワクチンを受けても、4～5か月経つと、重症化予防効果が減るので、繰り返し打った方が良い的な報告です。

ただし、2回接種で結構な免疫は出来ており、ワクチン未接種者と比べると、重症化リスクはずっと低い状態になっていますから、今後、例えば6か月ごとに追加接種を行なうことが、本当に必要かどうか、私はまだわかりません。今後のデータを注目したいと思います。

ワクチン接種後、時間が経つと、中等症～重症化防止効果が低下する

Ferdinands JM, Rao S, Dixon BE, et al. **Waning of vaccine effectiveness against moderate and severe covid-19 among adults in the US from the VISION network: test negative, case-control study.** *BMJ*. 2022;379:e072141. Published 2022 Oct 3. doi:10.1136/bmj-2022-072141

目的

年齢、免疫低下状態の有無、接種回数別に、mRNAワクチンの中等症～重症化防止効果を検討する。

方法

検査陰性症例対照研究。2021年1月17日から2022年7月12日までに米国10州の病院、ER、救急クリニックを受診した18歳以上の患者893,461名について検討。

オミクロン株とデルタ株およびそれ以前の株の流行期について、ファイザーとモデルナワクチンの効果を検討した。年齢、人種、民族、地域のウイルス流行状態、免疫低下疾患の有無などについて、ロジスティック回帰分析を行った。

結果

入院した新型コロナ患者45,903名と対照者（症状あるが検査マイナス）213,103名を比較。

オミクロン株流行期に3回目のワクチン接種から2か月以内では、入院リスクが89%低下していたが、4～5か月後では66%低下となっていた。

救急部門への入院リスクはそれぞれ86%低下、46%低下となっていた。

免疫低下疾患を抱える人々ではワクチン効果が低下していた。4回目接種後、入院リスク低下効果は改善した。

結論

mRNAワクチンの中等症～重症化防止効果は、接種からの時間が経つと低下する。3回あるいは4回接種により重症化リスクの低下が期待できる。